

フォトログ南アルプス市 2016年3月5日 山梨県南アルプス市

清涼なる富士川の流れ
うらかな天候と梅の花
ここは桃源郷・南アルプス市

2016年3月5日 山梨県南アルプス市
フォトログ南アルプス市



チーム「チョロ」写真を撮って通過確認

南アルプス市？

まずは南アルプス市の名前から説明しなくてはならないだろう。全国的に珍しいカタカナ名称の市。

南アルプス市という名称は、一般公募の結果で、合併協議会の投票によって2002年に決定された。市の名前にカタカナを使用しているのは、ユザ市（現・沖縄市）、篠ノ井市（現・長野市）に続いて3番目。現在では唯一の市。山梨県ローカルの報道では略して「南ア市」と表記する場合もあるようだ。山梨県民でない私は南アフリカ市と勘違いしそう。

でも私の知り合いは「なんぷす市」と略して呼ぶ人が多い。



一斉スタート前の記念撮影。会場の若草瓦会館前。鬼瓦の技術伝承を目的に作られた施設

地域愛が作る大会

そんな南アルプス市に住むロゲイナーの小野千晶さんが、好きな郷土を舞台に創り上げているのが今回で第3回を迎えるこの大会だ。地図はオリエンティアでもある飯島さんが担当。そのほか多くの人たち、勝手連？が運営に参加し、作り上げている。大会を作っている人たちが好きでやっているイベントなのだ。

ロゲイニングの多様性

このように情熱があれば、イベントを開けてしまうという敷居の低さがロゲイニングの良いところ。高度な地図と運営が要求される現在のオリエンテリング大会より参入希望者が多く、活性化しやすい状況となっている。

すっかり春の甲府盆地

3月5日は春を通り越して初夏の気候となった、半袖姿で平らな甲府盆地を歩き、走った。梅の花はすっかり満開。そんな中、南アルプスから流れ出る清流はどこまでも透明で美しかった。

適度に街で、適度に田舎。美しい自然。それが小野千晶さんが愛して止まない南アルプス市なのだ。



イージーナビゲーターの需要
オリエンテリング大会のBクラスやトリムクラスで取り込みに失敗した需要をロゲイニングではしっかりと受け止めている。



明治時代の堤防工事での粘土作業像
どうみても「自撮棒」
(木村佳司)